

—毎月1日は、防災について考える日—

災害対策NEWS

No.1

災害への備え

—丹後防災サイト—

京都府丹後保健所

HPバナー(近日公開)

編集/発行 (京都府丹後保健所)

災害対策ワーキングチーム

<事務局>

京都府丹後保健所(丹後広域振興局健康福祉部)

〒627-8570 京都府京丹後市峰山町丹波855

TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368

発行にあたり

令和6年1月1日、石川県で発生したマグニチュード7.6、震度7の地震は、能登半島で甚大な被害をもたらしました。この地震は京都府でも最大震度4を観測し、宮津市や京丹後市などでは津浪注意報が発令されました。

丹後半島は、北西から東にかけ海に囲まれた山間地域です。能登半島と同様、地震発生時には道路寸断による孤立地域の発生、水道や電気などのライフライン長期停止の恐れがあります。

保健所では、災害時の保健・医療・福祉等に関する体制を整えるため、所内ワーキングチームを立ち上げました。その取組の一環として、防災への気運を高めることを目的に「災害対策NEWS」を定期的に発行することになりました。



過去の地震から学ぶ

名称	北丹後地震  丹後半島  昭和2年4月1日(島津) 京丹後市立郷土資料館から	能登半島地震  能登半島  発災1カ月(のと里山海道) 石川県ホームページから
発生時刻	1927年(昭和2年)3月7日 18時27分	2024年(令和6年)1月1日 16時10分
震央地名	京都府丹後地方	石川県能登地方
規模(M) 最大震度	M7.3 最大震度6 震度6:宮津町(現:宮津市)、峰山町(現:京丹後市)	M7.6 最大震度7 震度7:石川県の輪島市、志賀町
被害の概要	死者2,925人(府内2,898人) 負傷者7,806人 全壊12,584棟 半壊9,443棟 焼失8,287戸 人的被害、建物倒壊、火災被害、道路被害 津浪被害、液状化現象、断層(郷村断層、山田断層)	死者244人(全て石川県) 負傷者1,300人 全壊8,754棟 半壊18,974棟 火災17件 (2024年3月29日現在) 人的被害、建物倒壊、火災被害、道路被害 津波被害、地割れ・土砂崩れ、液状化現象
地理的・社会的特徴	丹後半島は北西から東にかけ海に囲まれた地域で海岸沿いが主要道路。高齢者が多く、管内4市町の高齢化率は38.5%(令和4年)	能登半島は山がちな半島で、三方を海に囲まれたアクセス困難な地域。高齢者が多く、奥能登2市2町の高齢化率は48.9%(令和2年)
学ぶこと	建物の耐震対策、火災対策(夕食の支度時間に発生)、孤立対策(道路や鉄道が寸断)、避難所確保	建物の耐震対策、火災対策、孤立対策、ライフライン確保、避難所の設置場所
出典	・震災の記憶を継承する北丹後地震 京丹後市 ・北丹後地震 フリー百科事典(ウィキペディア)	・災害時地震・津波報告 令和6年能登半島地震 令和6年9月9日 気象庁

※北丹後地震では「活断層」という用語が日本で初めて用いられました。

災害関連事業(令和6年4月~9月)抜粋

開催日	事業名	内容	参加者数	対象者
R6.5.28	健康福祉部地震対応訓練	保健医療福祉調整支部の立ち上げシステムの操作方法訓練	150名程度	京都府健康福祉部職員
R6.6.24	災害対応机上訓練(職員会議)	災害時対応マニュアルの内容確認	50名程度	丹後保健所職員
R6.9.4	かかりつけ医と病院医師等との連携会議	能登半島地震派遣報告グループワーク	125名	丹後管内医療機関等関係者
R6.9.25	避難所 HUG 体験	HUG(避難所運営ゲーム)の実施	8名	丹後保健所職員

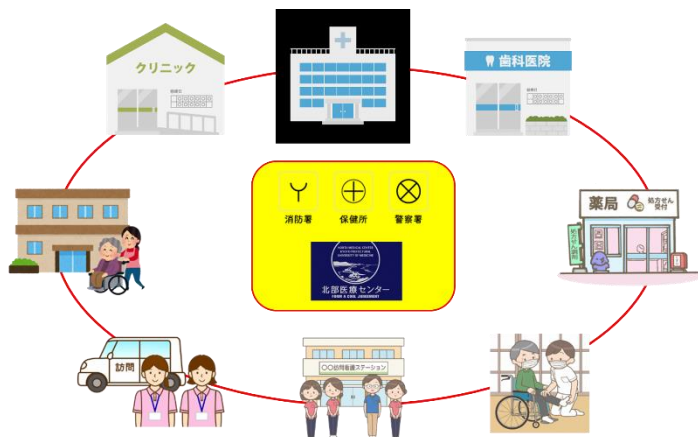
◆ ◆ ◆ 災害関連事業 実施報告 ◆ ◆ ◆

【かかりつけ医と病院医師等との連携会議】

開催日：令和6年9月4日（水）オンライン開催

テーマ「地域を守り抜くために、災害に備えて何ができるか考えよう」

丹後保健所職員、北部医療センター医師による能登半島地震派遣支援の報告及び課題提起やグループワークを実施しました。グループワークでは、丹後地域で大地震が発生したら自分たちはどう動けばいいのか話し合い、災害時に対応できるようにするために



連携会議資料：北部医療センター 浦田 良太 医師



令和6年1月（石川県珠洲市）
丹後保健所職員派遣支援

は日頃から地域での連携が必要であることを共有しました。

丹後地域の病院・診療所医師、看護師、訪問看護ステーション、薬局薬剤師、消防機関等、たくさんの方に参加いただき、災害時に対応できる体制づくりのための気運が高まりました。

【避難所HUG体験】

開催日：令和6年9月25日（水）

丹後保健所職員を対象に、HUG（避難所運営ゲーム）を実施しました。様々な避難者や避難所で起こる出来事にどのように対応するか、参加者全員で考えました。



HUG（避難所運営ゲーム）とは…

避難所運営を考えるための一つのアプローチとして、静岡県が開発した図上訓練です。避難所の年齢、性別、国籍などそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ配置できるのか、また、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験するゲームです。

【災害用語紹介】

DMAT とは…

「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されています。

医師、看護師、業務調整員で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、**急性期（おおむね48時間以内）**から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

出典：厚生労働省 DMAT 事務局 HP

備えて安心 防災日記

健康危機管理担当保健師のひなです。



保健所には健康危機管理事象の対応力を強化し、その対応の中核となる保健師の実践力を養成するため「健康危機管理担当保健師」が配置されています。

先日参加したアレルギー疾患対策研修会では能登半島地震において交通網の寸断等もあり、アレルギー対応食の提供に時間を要した地域があったと伺いました。そのため、ご家庭でできる平時からの備えが大切になります。少なくとも2週間分の食品（対応食含む）を備蓄して

おくことが望ましいです。アレルギーがない方でも最低3日分、できれば1週間分の備蓄が望ましいです。

普段使う食品を多めに買い置きし、古いものから消費し、消費したら買い足すローリングストック法がおすすめです。

私は職場のロッカーにローリングストック法で食品を備蓄しています（たくさん食べて、たくさん買い足しています。適度な量が大切だと思いますが……）。

皆さんも今からできる備えを一緒にしていきましょう！
（ひな）